

第15回

2005年4月13日～11月27日

自然観察インストラクター養成講座

自然を伝えよう！
身近な人から未来の子ども達へ



《自然体験活動リーダー養成登録事業》

【主催】

社団法人 大阪自然環境保全協会
〒530-0015

大阪市北区中崎西 2-6-3 ハステル 1-201

Tel 06-6374-3376 Fax 06-6374-0608

ホームページ: <http://www.nature.or.jp>

【後援】 (申請中を含む)

大阪府・大阪府教育委員会

大阪市・大阪市教育委員会

(社会福祉法人)

朝日新聞厚生文化事業団



身近な自然を大切に!

『自然観察インストラクター』ってどんな人？

あなたは『自然観察インストラクター』と聞いてどんな人をイメージしますか？
植物の名前をたくさん知っている人？ いろいろな鳥の習性について説明できる人？
たしかに自然についての様々な知識は持っているほうがいいでしょう。
でもそれだけが大事なことでしょか。

私たちの考える『自然観察インストラクター』とは「自然の感動を伝える人」です。
ただ何気なく歩いている普段の道も、よく観ると生き物の不思議な営みでいっぱい。
それを見つけてすごいなと感動できる、それがインストラクターの第一歩です。

そして、その感動を自分一人の中にとどめておくのではなく、他の人と共に分かち合う、
そのことでその感動は大きな輪となり広がっていくことでしょう。その輪が、「身近な
自然の大切さ」を実感させ、それを守ろうという力になることを私たちは信じています。

『自然観察インストラクター』とは、そんな広がりを生み出すためのリーダーとして
活躍していく人です。

《修了生の声》

私にとってこの講座はこれまで漠然と
感じていた環境問題や、自然と人間との
関わりをより深く考え、行動を起こす突
破口のようなものでした。もとより自然
関係に疎い私は、今でも名前の知らない
生き物がたくさんあります。でも、そん
なに詳しい知識はいりません。それより
も感動する心を持ち、一緒に感動してく
れる仲間を見つけ、増やしていく活動な
んじゃないでしょうか。

6期 40代 男性

「自然についていろいろ教えてくれ
るのだろう」という気持ちで受講した
私は、すぐに自分の思い違いに気がつ
いた。受講して一番大変だったのは、
様々な自然観を持つ人とどうやって共
通の自然を分かち合うか、という問題
だった。なにしろ講座の最後には自分
たちで公開観察会を行うのだから。
自分たちが伝えたい自然とは何か、
それをどうやって伝えるか。この講座は
「受講する」のではなく、「参加する」
講座だ。

6期 20代 女性

私は今まで京都の北山杉や公園のポプラ並木を
見て、緑っていいな、自然は大切だな、と思って
いました。しかし講座を受けて「私たちはその中
で雑木林が一番大事だと思う」と言う気持ちがす
ごく強くなりました。そして、その理由をきちん
と伝えていけるインストラクターになりたいと思っ
ています。

1期 50代 女性

《講師陣》

岡 秀郎	(社)大阪自然環境保全協会事務局長
菅井 啓之	ノートルダム学院小学校教諭
新田 章伸	NPO法人 里山倶楽部 里山環境教育オフィス 自然体験活動トレーナー
新保 満子	下止々呂美から妙見口を歩く会(水曜ハイク)・(社)大阪自然環境保全協会理事
木下 陸男	(社)大阪自然環境保全協会副会長・広島大学非常勤講師
長尾 文雄	聖マーガレット生涯教育研究所主任研究員
佐藤 治雄	大阪府立大学名誉教授(植物生態学)・(社)大阪自然環境保全協会副会長
松下 宏幸	応急手当普及員・大和川自然さんぽの会代表
布谷 知夫	滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員
石井 実	大阪府立大学教授 大学院農学生命科学研究科(農学部)
高畠 耕一郎	(社)大阪自然環境保全協会理事・吹田自然観察会
杉本 博	NPO法人 自然体験活動推進協議会 CONE(自然体験活動)トレーナー
地域観察会連絡会 他	

《講座内容と日程》

* 講座は3部構成で、基礎編は講義と実習、応用編は参加型プログラムが中心です。

実践編では受講生自身で実際に公開観察会を企画し、開催します。

* 平日の室内講座は、水曜日のPM6:30~8:30です。

会場は、北市民教養ルーム(阪急梅田駅徒歩5分)を予定しています。

(宿泊・野外講座等の会場・時間などの詳細については受講決定後お知らせします。)

基礎編

回	月・日・曜	テーマ	講師	会場
1	4月13日(水)	オリエンテーション	岡 秀郎	室内
2	4月17日(日)	自然観察入門	菅井啓之	烏帽子形公園
3	4月20日(水)	自然の見方・観察会入門	菅井啓之	室内
4	4月23日(土) ~24日(日)	宿泊研修①、野外で楽しもう	新田章伸 講座スタッフ	服部緑地公園
5	5月8日(日)	里山を歩いてみよう	新保満子他	箕面止々呂美
6	5月11日(水)	大阪の自然と自然保護運動	木下陸男	室内
7	5月15日(日)	初夏の自然を楽しもう 体験学習入門	14期生 長尾文雄	枚岡公園
8	5月18日(水)	色々な地域観察会	地域連絡会他	室内
9	6月1日(水)	生態学入門①	佐藤治雄	室内
10	6月5日(日)	生態学入門②	佐藤治雄	奈良公園
11	6月12日(日)	フィールドを歩こう!	講座スタッフ	新檜尾公園

応用編

回	月・日・曜	テーマ	講師	会場
12	6月末	現場へ出よう、地域観察会実施体験	府下各地域グループへ派遣	
13	~	(吹田・豊中・東大阪・河内長野・堺、城東区、淀川等の各地域観察会に、		
14	8月初め	セミの羽化や水辺観察会など、下見・打ち合わせを含めて参加します。)		
15	6月25日(土)	野外における安全・救急法	松下宏幸他	室内
16	7月10日(日)	自然保護と観察会、観察とテーマ	布谷知夫	千里中央公園
17	7月27日(水)	人と自然とのかかわり~里山と昆虫~	石井実	室内
18	8月6日(土)	環境を考える	講座スタッフ	室内
19	8月24日(水)	地域グループ参加のふりかえり	講座スタッフ	室内
20	8月31日(水)	観察会の企画運営	高島耕一郎	室内
21	9月3日(土) ~4日(日)	宿泊研修②、ミニ観察会をやってみよう CONE自然体験活動の理念	講座スタッフ 杉本 博	ちはや園地 (金剛山)

実践編

回	月・日・曜	テーマ	会場
22	9月7日(水)	始めよう自分たちの観察会	室内
23	9月11日(日)	現地下見①	2ヶ所に分かれて
24	9月21日(水)	班別会議①	室内
25	10月2日(日)	現地下見②	2ヶ所に分かれて
26	10月5日(水)	班別会議②	室内
27	10月16日(日)	現地下見③	2ヶ所に分かれて
28	11月3日(祝)	シミュレーション [B班実施、A班参加]	新檜尾公園(堺市)
29	11月6日(日)	シミュレーション [A班実施、B班参加]	千里中央公園(豊中市)
30	11月9日(水)	班別会議③	室内
31	11月20日(日)	公開観察会 [A班実施、B班参加]	千里中央公園(豊中市)
32	11月23日(祝)	公開観察会 [B班実施、A班参加]	新檜尾公園(堺市)
33	11月27日(日)	修了式	室内

※日程・講師・会場などの都合により変更する場合があります。

《この講座を修了すると . . . 》

この講座を修了された方は、(社)大阪自然環境保全協会に自然観察インストラクターとして登録されます。また、当協会が主催・後援する自然観察会や調査活動にリーダー・スタッフとして参加できます。さらに、修了生が自主的にはじめた地域観察会グループ(主に基礎編で紹介した府下各地)で、講座修了生や他のメンバーと一緒に活動することができます。

なお、自然体験活動協議会(CONE)の自然体験活動リーダーの道が開けます。

《参加資格》

18歳以上で次の条件を満たされる方

- ① 身近な自然を守るために何かやりたいと考えていること。
- ② 原則としてすべてのプログラムに参加できること。

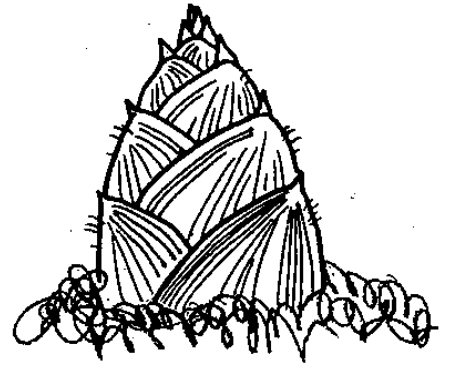
《参加費用》

保全協会会員 35,000円

一般 39,000円

教材費、保険料、宿泊研修費を含みます。

ただし宿泊研修時に若干の食費が別途必要です。



《定員》

25人(定員を超えた場合、申込〆切後に抽選となります。)

※申し込みされた方、もしくは考慮中の方は、
下記のどちらかの説明会にご出席下さい。

説明会は、3月9日(水) 19:00~20:30、

3月12日(土) 14:00~15:30

北市民教養ルーム(梅田)にて行います。

【説明会 会場】

《申込方法》

ハガキに 氏名、性別、生年月日、住所、
電話番号を記入し、3月14日(必着)迄に
下記へお送り下さい。

《申し込み・問合せ先》

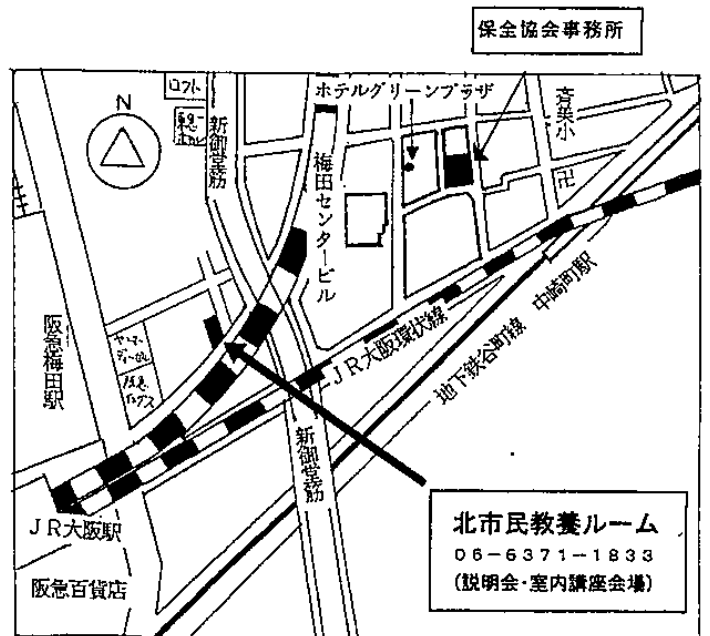
〒530-0015

大阪市北区中崎西 2-6-3 パステル 1-201

(社)大阪自然環境保全協会

インストラクター養成講座係

TEL:06-6374-3376 FAX:06-6374-0608



社団法人 大阪自然環境保全協会

身近な自然を愛し、これを守り育てたいと願う市民が、ボランティアで活動している自然保護団体です。大阪南港に野鳥公園をつくるなどの運動に取り組んだ市民が中心となって1976年に設立され、現在会員は約1200名、大阪を中心に近畿全域で活動を行っています。主な自然保護活動として、市民による里山管理・保全運動、市民環境調査、自然環境を守るための提言を行い、また、啓発活動として、自然やその保全について学ぶ講座・学習会、各地の観察会・「どんぐりまつり」などの行事を開催しています。